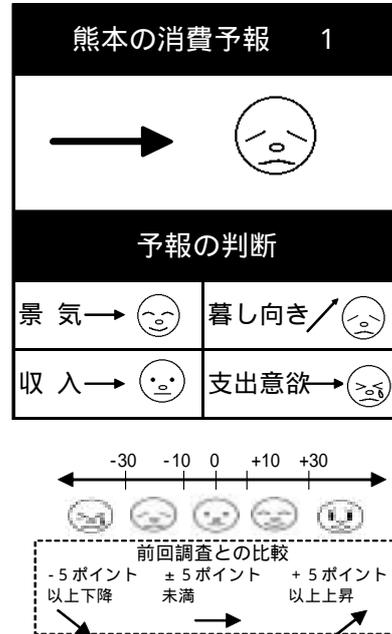


慎重さがうかがわれる消費マインド

熊本の今後半年間の消費予報【要約】

消費予報の指標としている「景気」、「暮らし向き」、「収入」、「支出意欲」の“見通し”をみると、「景気」見通しDIは+10.5で、前回は4.0ポイント下回ったが依然としてプラス水準にあり、「良くなる」「まあ良くなる」の合計が「悪くなる」「やや悪くなる」のそれを上回っている。「暮らし向き」見通しDIは前回調査では悪化したものの、今回は前回は6.0ポイント上回る26.9であった。また、「収入」見通しDIは5期連続して改善し8.2と過去2番目の高水準となった。しかし、「支出意欲」DIは32.2と、わずかではあるが前回は0.4ポイント下回った。

「収入」や「暮らし向き」の見通しは前回から良くなっているにもかかわらず、「支出意欲」は改善しておらず、半年前とあまり変わっていない。今後の支出増へ備えるという意識が引き続き強いようで、慎重な消費マインドがうかがわれる結果となった。



1 消費予報の読み方

本調査では、消費マインドに影響する『景気』と『暮らし向き』と『支出意欲(支出の引き締め)』に対する意識、実際の消費に関わる『収入』の増減の、4つの項目について今後半年の見通しを質問している。数値(DI)は、「良くなる(増えそう、緩める)」と回答した人の割合(%)から、「悪くなる(減りそう、引き締める)」と回答した人の割合(%)を引いて算出した。4つの項目と『支出』から総合的に判断し、熊本の消費の予報を試みた。

【調査概要】

対象：熊本市在住の20代から60

代の女性モニター500人

有効回答数：456人

調査時期：平成17年5月

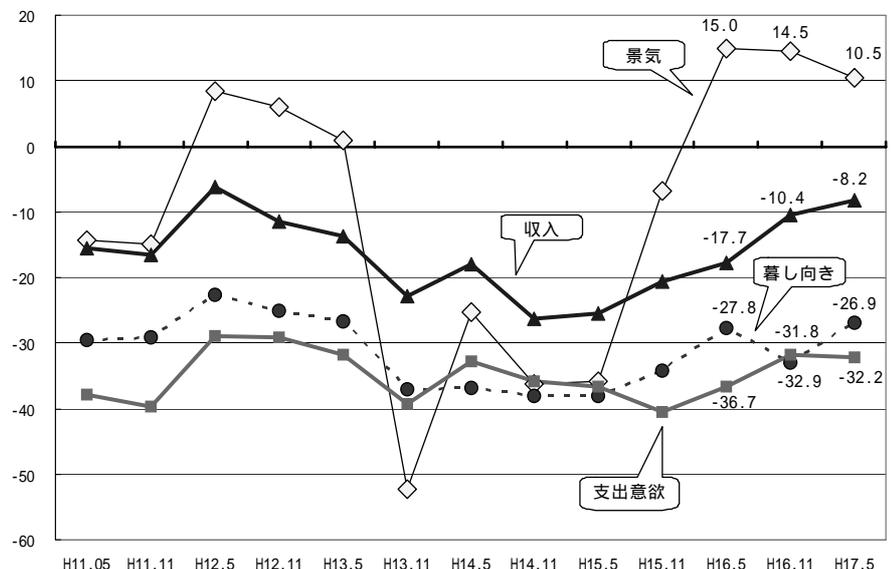
18日～29日

調査方法：郵送法

回答者の属性

年齢	実数	%
20代	73	16.0
30代	98	21.5
40代	93	20.4
50代	94	20.6
60代	98	21.5
合計	456	100.0

【今後の見通しDIの推移】



景気の見通し

今後半年間の景気見通しDIは+10.5で、前回は4.0ポイント下回ったが、依然としてプラス水準である。また、職の見つけやすさDI(「(まあ)見つけやすくなった」-「(やや)見つけにくくなった」)は+3.1と調査開始以来はじめてプラス水準となった。自由回答では4月の中国での反日デモや、原油高の影響を懸念する回答が見られた。

[景気の見通しDI]

DI=(「良くなる」+「まあ良くなる」)-(「悪くなる」+「やや悪くなる」)

→ 	今回		前回 (H16.11)	前々回 (H16.5)
	(H17.5)	前回比		
全体	10.5	-4.0	14.5	15.0
20代	19.1	-3.1	22.2	15.8
30代	15.4	13.2	2.2	5.9
40代	12.1	-7.0	19.1	12.6
50代	1.1	-12.4	13.5	27.3
60代	6.4	-9.9	16.3	12.2

暮らし向きの見通し

暮らし向きの見通しDIは、前回は6.0ポイント上回る26.9で、前回は4期ぶりに悪化した。今回は再び改善傾向を示した。いずれの年代のDIも前回調査を上回り、中でも60代が前回は11.5ポイント上回った。

[暮らし向きの見通しDI]

DI=(「良くなる」+「まあ良くなる」)-(「悪くなる」+「やや悪くなる」)

↗ 	今回		前回 (H16.11)	前々回 (H16.5)
	(H17.5)	前回比		
全体	26.9	6.0	32.9	27.8
20代	26.0	5.9	31.9	19.7
30代	23.7	7.8	31.5	25.6
40代	32.6	0.3	32.9	34.7
50代	28.0	3.4	31.4	31.3
60代	24.7	11.5	36.2	26.0

収入の見通し

今後半年間の収入見通しDIは前回調査を2.2ポイント上回る8.2で、依然としてマイナス水準ではあるが、5期連続して改善している。年代別では20代が+1.4と前回は7.0ポイント上回ってプラス水準になっており、40代も±0.0とマイナス水準を脱した。収入減の不安は和らぎつつあるように見える。

[収入の見通しDI]

DI=「増えそう」-「減りそう」

→ 	今回		前回 (H16.11)	前々回 (H16.5)
	(H17.5)	前回比		
全体	8.2	2.2	10.4	17.7
20代	1.4	7.0	5.6	3.9
30代	3.1	-0.8	2.3	10.6
40代	0.0	5.3	5.3	14.7
50代	18.0	-4.5	13.5	29.1
60代	18.4	4.3	22.7	25.7

支出意欲(支出の引き締め具合)

今後支出を緩めるかどうかをみる支出意欲DIは、前回調査を0.4ポイント下回る32.2であった。年代別では30代と60代が前回は上回ったが、20代、40代、50代では前回は下回った。今回の調査では「収入」や「暮らし向き」の見通しが改善傾向を示したが、支出意欲は前回とほぼ同じ水準のままで、消費マインドに改善は見られなかった。

[支出意欲DI]

DI=(「緩める」+「少し緩める」)-(「少し引き締める」+「引き締める」)

→ 	今回		前回 (H16.11)	前々回 (H16.5)
	(H17.5)	前回比		
全体	32.2	-0.4	31.8	36.7
20代	38.3	-2.1	36.2	31.5
30代	28.6	13.0	41.6	48.9
40代	37.4	-6.6	30.8	45.3
50代	33.7	-6.7	27.0	30.3
60代	24.7	0.6	25.3	28.0